

安全なDX推進のために不可欠な セキュリティ人材の発掘・育成を支援

NEC サイバーセキュリティ
訓練場演習 / 競技場演習(CTF)

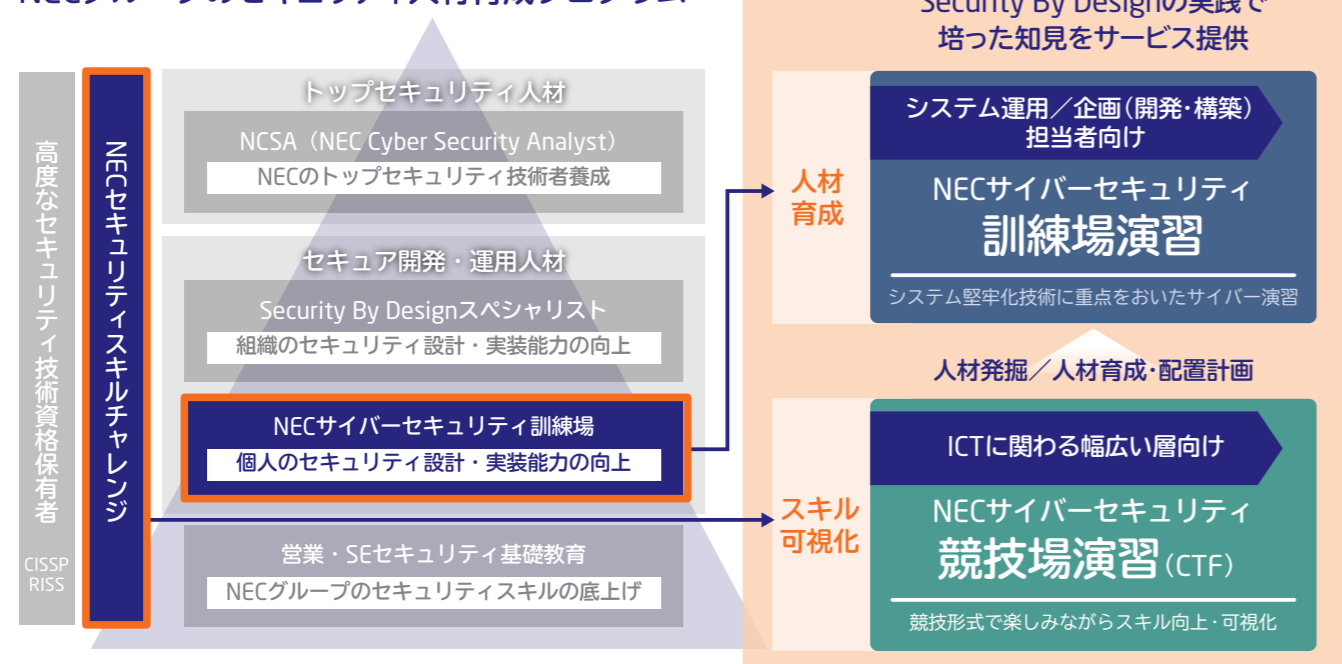
New Normal時代に向けて、テレワークの導入やクラウドサービスの利用など、DX(デジタルトランスフォーメーション)化が急速に進んでいます。企業のDXが進む一方で、サイバー攻撃による被害も深刻化しており、情報漏えいをはじめとしたセキュリティリスクへの対応は、事業継続のための経営課題となっています。

DXを安全に進めるためには、企画設計・構築、運用の各フェーズにおいて、デジタル技術を利用することのリスクを理解し、自組織の産業分野の特徴を踏まえたセキュリティ対策が行える人材の育成が急務となっています。

NECグループでは、企画設計段階からセキュリティを考慮する「Security By Design」の考え方に基づいて、セキュア開発・運用を実施しており、これらを担うセキュリティ人材の育成に注力しています。

お客さまのDX推進を支援しているNECグループのエンジニアが、実際に利用している実践的育成プログラムをサービスとして提供することで、お客さま組織内のセキュリティ対応力向上とリスク低減に貢献いたします。

NECグループのセキュリティ人材育成プログラム



NECサイバーセキュリティ訓練場演習

自らが堅牢化したシステムが攻撃を受けるという体験を通してセキュア構築の重要性を学び、丁寧な振り返りにより実践的なスキルを習得します。これにより、セキュリティ設計・実装能力とインシデント対応力のスキルアップを図ります。

堅牢化したシステムが攻撃を受ける”衝撃的な体験”と丁寧な振り返りにより、セキュリティ意識向上と実践スキルを習得



システム開発の早い段階からセキュリティを確保することは、コストや保守の観点で高い効果を得られますが、インシデントレスポンスを中心としたサイバー演習ではその重要性の啓発やスキル習得は困難です。本演習では、システム構築フェーズの堅牢化にフォーカスした演習によりセキュア構築の重要性を学び、実践的なスキル習得が可能です。

特長

- システム構築フェーズの演習にフォーカスし、仕込まれた脆弱性の探索や課題解決を実際に体験させる
- 自ら堅牢化したシステムがサイバー攻撃の被害に遭うという衝撃的な体験が、受講者の意識浸透の最後の一押しに

得られる効果

- WEB システムにおけるリスクアセスメントおよび堅牢化の実践的なスキルの習得
- インシデントハンドリングの初動と基本の理解
- Security By Design の考え方をベースにしたセキュア構築の重要性の理解

コース内容

堅牢化とインシデントレスポンスを2日間で実施します(推奨)。1日開催をご希望の方は、どちらか一方を選択してください。

受講推奨者	システム運用/企画(開発・構築)担当者 またはこれから担当する予定の方
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的なITに関する知識 ● ネットワークに関する基本的な用語の知識 ● Linuxコマンド、Windows端末の操作 ● WEBシステムにおけるリスクアセスメントおよび堅牢化の経験(推奨*) ● インシデントハンドリングの初動経験(推奨*) <small>*未経験者向けの演習も用意しています</small>
開催形式	集合形式/リモート形式
参加人数	5~30名まで

2日開催 (Hardening & Incident Response)

1日目	オリエンテーション(演習環境の解説、タイムテーブル) 演習システムの堅牢化 脆弱なシステムの設定変更を実施	1 脆弱箇所の発見 2 堅牢化
2日目	NECのスペシャリストチームによる攻撃 演習システムを用いたサイバー攻撃被害体験 インシデントレスポンス体験 振り返り(報告会、攻撃手順解説)	3 攻撃 4 初動対応 5 振り返り

毎年1000名規模が利用 豊富な実績

- NECグループの人材育成プログラムで培った豊富な知見を提供
- 常設のサイバー演習環境として累計2800名*以上のシステムエンジニアが活用(訓練場演習)
*2019年3月~2021年8月の受講者累計
- 毎年1000名規模の営業、システムエンジニアが自主参加人材発掘にも活用(競技場演習)

堅牢化の重要性を体感 意識向上 (訓練場演習)

- 実際に企業で発生した攻撃事例をもとに、NECのセキュリティスペシャリストチームが攻撃
- 自身で堅牢化したシステムへの攻撃の被害を体感
- 構築フェーズを想定して、事前に仕込まれた脆弱性の探索・堅牢化の演習を行うことで実践的な技術を習得可能

楽しみながら業務で使える テクニックを学習 (競技場演習)

- CTF*の競技形式によりゲーム感覚で効率的に学習
*フラグと呼ばれる答えを手を動かしながら見つけて得点を競い合う
- NECのセキュリティスペシャリストチームが作問した問題から職種や役割に応じて選択可能
- 競技結果から受講者の保有スキルや適正人材像を可視化し、潜在的なスキル保有者を発掘